

「教育・青少年」の政策体系

(分野)

教育・
青少年

(基本方針)

学校教育の充実

学校施設の整備

青少年の
健全育成

(施策)

教育内容の充実

児童・生徒の
安全・安心の確保

教育研究所の機能充実

教育問題相談体制の
整備

教育施設・設備の充実と
適切な維持管理・更新

青少年教育の充実と
社会参加の促進

青少年の健全育成に
向けた活動への支援

(主要事業)

・学校教育モデルプラン推進事業
・学力向上重点事業
・体験実践活動推進事業 等

・やまびこ教育相談室運営事業
・学校支援対策推進事業
・通学路対策事業 等

・教育調査研究事業(教育研究所)
・講座開設事業(教育研究所) 等

・学校問題サポートチーム運営事業

・学校図書整備事業
・学校大規模改造事業
・学校地震補強・危険改築事業 等

・少年センター運営事業

・青少年育成活動推進事業

■施策評価シート

基本方針番号	(3)-1	施策番号	①	施策名	教育内容の充実								
施策の概要	草津の自然や文化を生かした体験型の学習活動を推進することで、子どもに“ふるさと草津の心”を育むとともに、学力向上プログラムに基づいて子どもの確かな学力や生きる力の育成を図ります。				責任課	学校教育課							
					記入者	糠塚一彦							
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度				
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
	学校評価:学校は楽しい	%	77	80	81	88	82		83				
	学校評価:授業はわかる	%	72	80	81	84	82		83				
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度				
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
	子ども輝き人権教育推進会議実施数	回	48	48	48	48	48		48				
	体験型学習の実施校の割合	%	100	100	100	100	100		100				
	校内研修会の実施回数	回	320	320	320	342	320		320				
保護者相談の実施回数	回	760	760	760	388	400		400					
(責任課コメント)	子ども輝き人権教育推進会議実施数:事業を受けている学区が1年間に行っている運営者会議の回数 体験型学習の実施校の割合:小学校において「たんほのこ」など草津の自然を活かした体験学習実施校の割合 校内研修会の実施回数:各小中学校で実施している校内研修会の総合計回数 保護者相談の実施回数:やまびこ教育相談における保護者相談の1年間の相談回数												
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	学力向上プログラムに基づいた事業を展開した結果、平成22年度に成果指標とした「学校が楽しい」「授業はわかる」と答えた児童生徒の割合が目標値を大きく上回った。学力向上プログラムの事業を各学校で実施することにより、確実に子どもの学習意欲の向上はみられた。												
評価に基づいた今後の考え方	成果指標の平成22年度実績のうち「学校が楽しい」「授業はわかる」と答えた児童生徒の割合が目標値を大きく上回った。これは、学力向上プログラムに基づいて全小中学校が「各種検定事業」「ICT授業の推進」「学校教育モデルプラン推進事業」を牽引として知徳体にわたる幅広い学びの充実を目指してきた成果と考える。 子どもが輝く学力向上プログラムは平成22年2月に策定したばかりである。今後、各小中学校がこの事業の趣旨に沿った教育活動を定着させる必要がある。												
備考													

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】					
		責任課による分析			関係課のコメント
指標		保護者相談の実施回数の平成22年度の目標値を760としていたが、相談員の数が3人から2人になったこともあり、目標値を400に変更する。			
事務事業	体系				
	個別内容	子どもが輝く学力向上プログラムの趣旨や事業内容について教職員が共通理解を図ったり、実績を検証するためにも校内研修会は重要な位置付けとなっている。			
環境・条件の変化					
その他の外的・他律的な事象					
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載					
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細	
英語活動推進事業	学校教育課	B	統合	事業の充実を図るため、学力向上重点事業に統合し、留学生との交流活動を行っていく。	
学力検査事業	学校教育課	B	統合	事業の充実と効率化を図るため、学力向上重点事業の中で関連事業と一体的に取り組む。	
学校図書館整備事業	学校教育課	A	手段の変更	ハード面が整ったことから、次の段階として、子どもの読書活動が活発になるよう司書の配置等により指導の充実を図る	
子ども読書活動推進費	学校教育課	A			
学校教育振興ビジョン推進事業	学校教育課	B	統合	事業の充実と効率化を図るため、学校教育モデルプラン推進事業と統合する。	
訪宅指導	学校教育課	A	廃止	同和対策施策の見直しに関する基本方針に則り、この事業は一般対策として継承し、謝金は廃止した。	

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載・・・A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い

※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■事務事業・事業費一覽

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	リ	学校教育モデルプラン推進事業	学校教育課	A	計画	0	4,413	2,699	***	7,112
					実績	0	3,106			3,106
2	リ	学力向上重点事業	学校教育課	A	計画	0	23,594	24,934	***	48,528
					実績	0	22,392			22,392
3	-	教職員研修事業	学校教育課	C	計画	1,387	1,194	265	***	2,846
					実績	1,208	1,126			2,334
4	-	英語活動推進事業	学校教育課	B	計画	6,080	0	0	***	6,080
					実績	5,793	0			5,793
5	-	学力検査事業	学校教育課	B	計画	188	0	0	***	188
					実績	170	0			170
6	-	小学校体育推進事業	スポーツ保健課	B	計画	916	954	859	***	2,729
					実績	581	854			1,435
7	-	中学校体育部活動推進事業	スポーツ保健課	B	計画	2,843	2,764	3,135	***	8,742
					実績	2,713	2,576			5,289
8	-	教職員体育実技研修事業	スポーツ保健課	B	計画	20	20	20	***	60
					実績	20	20			40
9	-	学校図書館整備事業	学校教育課	A	計画	14,448	10,455	-	***	24,903
					実績	13,510	10,514			24,024
10	-	学校・園運営支援事業	学校教育課	B	計画	14,473	16,372	16,372	***	47,217
					実績	16,553	15,825			32,378
11	-	学校教育振興ビジョン推進事業	学校教育課	C	計画	6,862	0	0	***	6,862
					実績	5,415	0			5,415
12	主	体験実践活動推進事業	学校教育課	A	計画	4,218	3,560	3,560	***	11,338
					実績	3,827	2,860			6,687
13	-	青少年美術展覧会開催事業	学校教育課	B	計画	440	440	440	***	1,320
					実績	439	405			844
14	-	科学発表展覧会開催事業	学校教育課	B	計画	26	26	26	***	78
					実績	26	26			52
15	-	外国語指導助手配置事業	学校教育課	-	計画	8,441	0	0	***	8,441
					実績	7,924	0	-	-	7,924
16	-	教職員同和教育研修事業	学校教育課	A	計画	310	310	310	***	930
					実績	110	116			226
17	主	人権教育推進事業	学校教育課	A	計画	480	480	480	***	1,440
					実績	600	480			1,080
18	-	同和教育指導推進事務	学校教育課	B	計画	5,365	10,016	3,608	***	18,989
					実績	5,012	9,748			14,760
19	-	訪宅指導事業	学校教育課	A	計画	1,629	1,530	0	***	3,159
					実績	1,596	1,579			3,175

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20	-	自主活動学級開設事業	学校教育課	A	計画	6,933	6,918	6,918	***	20,769
					実績	6,758	6,709			13,467
21	-	各種研究会等参加事業	学校教育課	B	計画	59	141	141	***	341
					実績	27	141			168
22	-	奨学生友の会活動事業	学校教育課	B	計画	1,204	1,019	1,019	***	3,242
					実績	528	530			1,058
23	-	修学援助資金給付事業	学校教育課	B	計画	6,295	2,860	2,860	***	12,015
					実績	3,953	2,122			6,075
24	-	社会同和教育推進事務	学校教育課	B	計画	157	11	11	***	179
					実績	88	0			88
25	マ	特別支援教育推進事業	学校教育課	A	計画	66,921	90,897	90,897	***	248,715
					実績	77,454	91,494			168,948
26	-	外国人児童生徒教育相談員配置事業	学校教育課	B	計画	431	515	515	***	1,461
					実績	280	182			462
27	-	障害児就学指導委員会運営事業	学校教育課	B	計画	352	352	352	***	1,056
					実績	349	287			636
28	-	子ども読書活動推進費	学校教育課	A	計画	-	-	11,101	***	11,101
					実績	-	-			0
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	150.5	178.8	170.5	***	499.8
	実績	154.9	173.1			328.0
主要事業小計	計画	4.7	4.0	4.0	***	12.8
	実績	4.4	3.3			7.8
リーディング事業小計	計画	0.0	28.0	27.6	***	55.6
	実績	0.0	25.5			25.5
マニフェスト関連事業小計	計画	66.9	90.9	90.9	***	248.7
	実績	77.5	91.5			168.9

■施策評価シート

基本方針番号	(3)-1	施策番号	②	施策名	児童・生徒の安全・安心の確保					
施策の概要	学校生活における子どもの様々な活動が、安全で安心できる環境と優れた教育条件のもとで展開されるよう整備を図ります。				責任課	スポーツ保健課				
					記入者	倉田 勇				
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	学校適応できた児童生徒の前年比増加率	%	-2	5	6	8	8		8	
	「学校が楽しい」と考える中1生徒の割合	%	75	75	76	84	84		84	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	不登校・不登校傾向の児童生徒の前年度比	%	-4.8	-5.0	-5.0	-6.5	-6.5		-6.5	
	加配の配置	人	12	12	12	12	12		12	
	パトロールの実施回数	回	1,259	3,500	3,475	4,046	3,450		3,425	
	問題行動等生徒保護者対応	件	729	1,500	1,475	1,459	1,450		1,425	
	関係機関等との連携	回	216	450	450	311	450		450	
	通学路の点検	回	1	1以上	1以上	1	1以上		1以上	
(責任課コメント)	「学校が楽しい」と考える中1生徒の割合：小学生が中学生になった直後は、学習や生活の変化になじめずに不登校となったり、いじめが急増するという中1ギャップという現象があるため成果指標とした									
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	学校適応できた児童生徒の前年比増加率および学校が楽しいと考える中1生徒の割合について、実績値が目標値を上回っている。学校現場での様々な活動により、学校内の問題が減少してきていると考える。									
評価に基づいた今後についての考え方	学校適応できた児童生徒の前年比増加率および学校が楽しいと考える中1生徒の割合について、目標とする成果が得られているため、引き続き現行どおり事業を継続する。									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】					
		責任課による分析			関係課のコメント
指標		学校適応できた児童生徒の前年比増加率および学校が楽しいと考える中1生徒の割合について、平成22年度の実績値が目標値を上回った。平成23年度以降の目標値を平成22年度の実績値に見直す。			
事務事業	体系				
	個別内容				
環境・条件の変化					
その他の外的・他律的な事象					
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載					
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細	

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	主	やまびこ教育相談室運営事業	学校教育課	B	計画	502	502	288	***	1,292
					実績	506	528			1,034
2	-	生徒指導推進事務	学校教育課	B	計画	57	57	57	***	171
					実績	10	18			28
3	主	学校支援対策推進事業	学校教育課	A	計画	14,871	17,247	16,326	***	48,444
					実績	16,339	15,353			31,692
4	主	中学校生徒指導主事活動推進事業	学校教育課	A	計画	33,810	34,026	34,356	***	102,192
					実績	33,758	34,192			67,950
5	マ	中学校生活安定推進事業	学校教育課	A	計画	14,633	17,319	17,169	***	49,121
					実績	14,890	17,032			31,922
6	-	小学1年生学校生活支援員配置事業	学校教育課	A	計画	9,860	30,116	31,661	***	71,637
					実績	27,981	29,328			57,309
7	主	通学路対策事業	スポーツ保健課	B	計画	2,014	2,027	2,066	***	6,107
					実績	2,329	1,132			3,461
8	-	通学区域に関する事務	学校教育課	B	計画	123	123	123	***	369
					実績	0	94			94
9	-	各学校への校医等の配置	スポーツ保健課・幼児課	B	計画	17,301	17,260	17,924	***	52,485
					実績	17,098	17,307			34,405
10	-	学校・幼稚園環境衛生管理事業	スポーツ保健課・幼児課	B	計画	1,738	1,816	1,866	***	5,420
					実績	1,927	1,732			3,659
11	-	学校災害賠償補償保険事務	スポーツ保健課	B	計画	493	488	492	***	1,473
					実績	484	487			971
12	-	児童・生徒安全対策事業	スポーツ保健課・幼児課	B	計画	1,890	489	344	***	2,723
					実績	1,890	616			2,506
13	-	児童・生徒等健康診断事業	スポーツ保健課・幼児課	B	計画	15,191	13,614	14,328	***	43,133
					実績	11,609	13,588			25,197
14	-	児童生徒就学援助費支給事務	学校教育課	A	計画	46,231	47,340	53,119	***	146,690
					実績	43,596	47,420			91,016
15	-	児童通学支援事業	学校教育課	A	計画	2,184	2,043	1,790	***	6,017
					実績	1,819	1,681			3,500
16	-	就学時・就園時健康診断事業	スポーツ保健課	B	計画	1,601	1,374	1,456	***	4,431
					実績	1,321	1,313			2,634
17	-	特別支援教育就学奨励事業	学校教育課	A	計画	5,207	5,503	6,539	***	17,249
					実績	3,395	3,800			7,195
18	主	給食センター管理運営事業	学校給食センター	A	計画	484,107	511,815	511,600	***	1,507,522
					実績	478,211	507,884			986,095
19	-	日本スポーツ振興センター負担金事務	スポーツ保健課・幼児課	B	計画	10,049	9,980	10,193	***	30,222
					実績	9,934	10,031			19,965

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20	-	地域ぐるみの学校安全推進事業(旧学校安全対策巡回事業)	スポーツ保健課	B	計画	910	910	682	***	2,502
					実績	910	910			1,820
21	-	幼稚園養護教諭配置事業	スポーツ保健課・幼児課	B	計画	5,083	4,956	4,854	***	14,893
					実績	4,889	4,870			9,759
22	-	学校保健推進事務事業	スポーツ保健課	B	計画	632	2,754	856	***	4,242
					実績	1,273	2,448			3,721
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	668.5	721.8	728.1	***	2,118.3
	実績	674.2	711.8			1,385.9
主要事業小計	計画	535.3	565.6	564.6	***	1,665.6
	実績	531.1	559.1			1,090.2
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画	14.6	17.3	17.2	***	49.1
	実績	14.9	17.0			31.9

■ 施策評価シート

基本方針番号	(3)-1	施策番号	③	施策名	教育研究所の機能充実					
施策の概要	教員の指導力向上や個別の教育課題の解決を図る指導と研修の充実に努め、学校教育の水準向上を図ります。			責任課	学校教育課					
				記入者	糠塚一彦					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	研修満足度	%	91	80	80	94	80		80	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	副読本利用率	%	69	100	100	100	100		100	
	研修参加者数	人	1,512	1,475	1,480	1,658	790		800	
(責任課コメント)	研修満足度: 受講者に満足度を計るアンケートを実施した、全研修の平均(%)。 副読本利用率: 社会科副読本「わたしたちの草津」の授業での利用率 研修参加者数: 教職員夏期研修講座の参加者の総数									
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	①「研修満足度」の目標値80%に対して、平成21年度、22年度ともに実績値は90%を越えており、目標を達成している。受講者アンケートを活用し、受講者のニーズに合った講座が実施できた。 ②「研修参加者」についても、平成21年度目標値1475人に対し、実績値1512人、平成22年度目標値1480人に対して、実績値1658人と目標を達成している。受講者のニーズに合った講座が実施できた。 ③副読本については、指導要領の改訂にあわせて内容を整理し、4冊から1冊にまとめた。その「利用率」は、目標値に達している。 夏季休業期間中に教員の指導力や個別の教育課題の解決を図るための夏期研修講座を実施している。平成22年度の研修満足度は目標値を14ポイント上回る結果となった。									
評価に基づいた今後の考え方	教員の研修については、目標値を大きく上回る結果となった。今日的な課題と教員のニーズにあった課題を吟味して研修内容を決定した結果であると考え。 副読本については、目標とする成果が得られているので、引き続き現行どおり事業を継続する。									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	2学期開始が6日間早められ、講座数が約半数となったことから、研修参加者数の目標値を平成23年度1490人、平成24年度1500人としていたものを、平成23年度は790人、平成24年度は800人に見直す。			
事務事業	体系			
	個別内容			
環境・条件の変化	市内小中学校の夏季休業日が減り、2学期の開始が早まった。			
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	-	教育研究所運営事務	学校教育課	B	計画	20,448	20,891	26,370	***	67,709
					実績	20,385	20,465			40,850
2	主	教育調査研究事業(教育研究所)	学校教育課	A	計画	912	106	1,872	***	2,890
					実績	804	60			864
3	主	講座開設事業(教育研究所)	学校教育課	B	計画	178	215	215	***	823
					実績	173	181			354
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
800					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	21.5	21.2	28.5	***	71.4
	実績	21.4	20.7			42.1
主要事業小計	計画	1.1	0.3	2.1	***	3.7
	実績	1.0	0.2			1.2
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

■施策評価シート

基本方針番号	(3)-1	施策番号	④	施策名	教育問題相談体制の整備					
施策の概要	学校問題サポートチームの取り組みにより、子どもや保護者に関わる様々な問題に対する学校の対応力を高め、円滑な学校経営を進めます。			責任課	学校教育課					
				記入者	糠塚一彦					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	4回以内での終結件数率	%	68	50	50	75	55		55	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	会議実施数	回	37	40	40	53	40		40	
(責任課コメント)	4回以内での終結件数率: 継続して4回以内のケース協議で、終結したケースの割合 会議実施数: サポートチーム会議の開催数									
施策の達成度 (責任課による 定性的評価)	4回以内での終結率は平成21年度68%、平成22年度75%と目標の50%を上回った。サポートチーム会議を通して、SSW的手法が教職員に理解され、指導、助言を活かした効果的な対応をすることで、問題の早期解決が可能になった。 会議実施数について、平成21年度は、実績値が目標値を少し下回ったが、平成22年度は目標値40回に対して、実績値53回と上回った。									
評価に基づいた今後についての考え方	学校問題サポートチーム会議については、目標とする成果が得られているので、引き続き現行どおり事業を継続する。									
備考	SSW(スクールソーシャルワーク)的手法: 人間関係や個人を取り巻く環境に働きかけることで、問題の解決を図る方法									

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
	責任課による分析			関係課のコメント
指標				
事務事業	体系			
	個別内容			
環境・条件 の変化				
その他の外的 ・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果 への 貢献度	改善の方針	改善内容の詳細

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A: 特に高い B: 高い C: やや低い D: 低い

※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	マ	学校問題サポートチーム運営事業	学校教育課	A	計画	2,277	1,662	1,879	***	5,818
					実績	1,445	1,562			3,007
2					計画					
					実績					
3					計画					
					実績					
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	2.3	1.7	1.9	***	5.8
	実績	1.4	1.6			3.0
主要事業小計	計画					
	実績					
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画	2.3	1.7	1.9	***	5.8
	実績	1.4	1.6			3.0

■施策評価シート

基本方針番号	(3)-2	施策番号	①	施策名	教育施設・設備の充実と適切な維持管理・更新							
施策の概要	電子黒板の導入、学校図書館等の図書整備・更新のほか、小中学校について、必要に応じた施設の計画的な維持管理・更新・充実に図ります			責任課				教育総務課				
				記入者								
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度			
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	小学生の1人当り読書冊数(1ヶ月)	冊	7.2	7.2	10.5	10.5	10.9		11.3			
	中学生の1人当り読書冊数(1ヶ月)	冊	1.7	1.7	1.9	1.9	2		2.2			
	授業がわかる児童・生徒の割合	%			84	84	85		86			
	学校大規模改修率	%	57.9	60	65	63.2	65		75			
	学校給食センター改修事業	%	3	3	13	13	27		100			
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度			
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	学校図書充足率	%	80.1	85	85	83.3	88		93			
	学校電子黒板配備率	%	100	100	100	100	100		100			
(責任課コメント)												
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書については、平成20年度から図書システムの導入を進め、平成22年度に全19校への導入を完了した。その間、システムの導入にあわせて、図書の廃棄等の整理も進めたため、充足率は必ずしも上昇しなかった。 ・平成21年度は、市内全小中学校の全教室に電子黒板等を整備した。平成22年度は各学校のクラスの増減に併せて、電子黒板等の移動を行い、不足分については購入し、配備率は100%を達成した。 ・小中学校の大規模改修事業については築25年を目的に進めていっているが、耐震化事業の施工により少し遅れている。しかしながら、今年度中に耐震化事業が完了するため、今後、大規模改修事業についても、鋭意、進めていく予定である。 											
評価に基づいた今後の考え	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、学校図書の充足率が、確実に上昇していくことが見込まれる。 ・電子黒板等について、ハード面では100%の配備を達成しているが、今後は、学校教育課等と連携しながら、電子黒板等を有効に活用した授業を行える教員の裾野を広げていく必要がある。また、電子教材等の購入も検討していく。 ・引き続き、教育環境の改善の充実のため、事業を進めていく。 											
備考												

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】					
責任課による分析				関係課のコメント	
指標	・想定していたより図書の廃棄が多かったため、図書充足率の目標値を据え置く。				
事務事業	体系				
	個別内容				
環境・条件の変化					
その他の外的・他律的な事象					
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載					
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細	
デジタル教科書整備費	教育総務課	A	拡充	デジタル教科書やデジタル教材を購入し、電子黒板等のより一層の有効活用を図る。	

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載・・・A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	-	小・中学校維持管理事業	教育総務課	C	計画	288,548	196,330	290,252	***	1,089,459
					実績	228,551	243,602			472,153
2	-	小・中学校管理運営事業	教育総務課	C	計画	279,038	151,386	95,048	***	412,203
					実績	277,433	142,667			420,100
3	マ	学校図書整備事業	教育総務課	A	計画	22,683	24,739	21,755	***	69,177
					実績	22,676	24,675			47,351
4	-	小・中学校教材設備整備事業(その他分)	教育総務課	B	計画	51,844	93,637	87,709	***	332,758
					実績	51,139	93,253			144,392
5	-	小・中学校整備事業	教育総務課	C	計画	378,624	1,333,801	146,750	***	2,005,925
					実績	157,841	567,529			725,370
6	主	学校大規模改造事業	教育総務課	A	計画	488,002	278,367	0	***	766,369
					実績	104,769	748,738			853,507
7	主	学校地震補強・危険改築事業	教育総務課	B	計画	1,292,340	800,000	3,600	***	2,099,540
					実績	490,521	1,096,438			1,586,959
8	主	学校給食センター改修事業	教育総務課	A	計画	5,907	20,825	522,545	***	2,035,478
					実績	5,906	20,562			26,468
9	-	教育委員会運営事業	教育総務課	C	計画	2,702	2,713	2,700	***	10,877
					実績	2,595	2,320			4,915
10	-	教育委員会事務局運営事業	教育総務課	C	計画	147,869	154,073	173,244	***	618,901
					実績	146,558	150,931			297,489
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	2,957.6	3,055.9	1,343.6	***	9,440.7
	実績	1,488.0	3,090.7			4,578.7
主要事業小計	計画	1,786.2	1,099.2	526.1	***	4,901.4
	実績	601.2	1,865.7			2,466.9
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画	22.7	24.7	21.8	***	69.2
	実績	22.7	24.7			47.4

■ 施策評価シート

基本方針番号	(3)-3	施策番号	①	施策名	青少年教育の充実と社会参加の促進					
施策の概要	多様化する青少年の問題に対応する青少年への教育や啓発の充実を図るとともに、少年センター等との連携により、問題解決のための取り組みを地域ぐるみで展開します。			責任課	生涯学習課					
				記入者	岸本博光・吉田好明					
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	青少年からの相談件数	件	933	1200	1200	841	900		900	
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	青少年からの相談件数	件	933	1200	1200	841	900		900	
(責任課コメント)	青少年からの相談件数：一年間の相談延べ件数									
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	平成22年度末における相談件数は841件で、目標値の70%、対前年比で10%減少した。これは、県、市の相談機関の充実と利用が広がったためと思われる。									
評価に基づいた今後についての考え方	センター・あすくる草津の相談件数が減少しているのは、他の相談機関の充実、相談者の分散と考えられることから、目標値を見直し引き下げる。事業については、学校・学業、就職・仕事、少年の家庭などの相談が多く、県等の立ち直り支援の関係機関と連携をはかり、相談・支援業務に取り組んでいく。									
備考										

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標	相談関係機関の充実による相談者の分散、実績による目標値の見直し			
	体系			
事務事業	個別内容			
	環境・条件の変化			
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い
 ※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■ 事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	合計
1	主	少年センター運営事業	生涯学習課	B	計画	23,143	23,639	20,978	***	67,760
					実績	22,676	20,046			42,722
2					計画					
					実績					
3					計画					
					実績					
4					計画					
					実績					
5					計画					
					実績					
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	23.1	23.6	21.0	***	67.8
	実績	22.7	20.0			42.7
主要事業小計	計画	23.1	23.6	21.0	***	67.8
	実績	22.7	20.0			42.7
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					

■施策評価シート

基本方針番号	(3)-3	施策番号	②	施策名	青少年の健全育成に向けた活動への支援							
施策の概要	青少年の健全育成を図るため、少年団体活動や青少年育成活動、青年国際交流等の支援・促進を図るとともに、「わんぱくプラザ」の積極的な展開を図ります。			責任課	生涯学習課							
				記入者	吉田好明							
成果指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度			
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	アドベンチャーキャンプ参加者数	人	40	50	50	49	50		50			
	青少年健全育成事業の参加者数	人	728	800	800	675	800		800			
	青少年問題協議会の実施回数	回	2	2	2	2	2		2			
	青年海外派遣出前授業実施者数	人	11	19	19	11	19		19			
活動指標	項目	単位	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度			
			現在値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	アドベンチャーキャンプ参加者数	人	40	50	50	49	50		50			
	青少年健全育成事業の参加者数	人	728	800	800	675	800		800			
	青少年問題協議会の実施回数	回	2	2	2	2	2		2			
	青年海外派遣出前授業実施者数	人	11	19	19	11	19		19			
(責任課コメント)	目標値：一年間の延べ数値											
施策の達成度 (責任課による定性的評価)	目標値は適切な値であり、おおむね評価できる実績値であるが、このうち青年海外派遣出前授業実施者数の実績値が少ないが、これの目標値は小中学校数であり、変更する必要は無いと思われる。											
評価に基づいた今後についての考え方	青少年健全育成事業の参加者数と青年海外派遣出前授業実施者数の増加に努め、全体として目標値と実績値の差が少なくなる。											
備考												

【施策成果に影響を与えた要因についての分析】				
		責任課による分析		関係課のコメント
指標		目標値に対して実績値が下回ったものもあるが、目標値の見直しは行わない。		
事務事業	体系			
	個別内容			
環境・条件の変化				
その他の外的・他律的な事象				
【事務事業の改善方針】 ※改善を図る事務事業のみ記載				
事務事業名	担当課	施策成果への貢献度	改善の方針	改善内容の詳細

※「施策成果への貢献度」は各事業の施策目標達成に対する貢献度の高さを記載……A:特に高い B:高い C:やや低い D:低い

※「改善の方針」は、①新規 ②廃止・統合 ③休止 ④目的の変更 ⑤手段の変更 ⑥拡充 から選択

■事務事業・事業費一覧

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
1	-	少年団体活動事業	生涯学習課	B	計画	573	573	統合廃止	統合廃止	1,146
					実績	571	565			1,136
2	主	青少年育成活動推進事業	生涯学習課	B	計画	6,336	6,591	6,020	***	18,947
					実績	6,326	5,491			#####
3	-	青年国際交流事業	生涯学習課	B	計画	76	137	157	***	370
					実績	76	90			166
4	-	成人式開催事業	生涯学習課	B	計画	976	1,057	1,002	***	3,035
					実績	973	901			1,874
5	-	わんぱくプラザ事業	まちづくり協働課	B	計画	741	804	804	***	2,349
					実績	156	80			236
6					計画					
					実績					
7					計画					
					実績					
8					計画					
					実績					
9					計画					
					実績					
10					計画					
					実績					
11					計画					
					実績					
12					計画					
					実績					
13					計画					
					実績					
14					計画					
					実績					
15					計画					
					実績					
16					計画					
					実績					
17					計画					
					実績					
18					計画					
					実績					
19					計画					
					実績					

番号	事業区分	事務事業	担当課	施策成果への貢献度	事業費(千円)					
						H.21	H.22	H.23	H.24	計
20					計画					
					実績					
21					計画					
					実績					
22					計画					
					実績					
23					計画					
					実績					
24					計画					
					実績					
25					計画					
					実績					
26					計画					
					実績					
27					計画					
					実績					
28					計画					
					実績					
29					計画					
					実績					
30					計画					
					実績					

(百万円)

総計	計画	8.7	9.2	8.0	***	25.8
	実績	8.1	7.1			15.2
主要事業小計	計画	6.3	6.6	6.0	***	18.9
	実績	6.3	5.5			11.8
リーディング事業小計	計画					
	実績					
マニフェスト関連事業小計	計画					
	実績					